



Professional Mixing Controller

**PMC-500**

**取扱説明書**

# ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-500プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、お願いいたします。

## 目次

ご使用上の注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
各部の名称と機能	4
インプットセクション	5
クロスフェーダーセクション	6
モニターセクション	6
マスターセクション	7
リアパネルセクション	8
フェーダーユニットの交換	10
ブロックダイアグラム	12
故障かな?と思ったら・保証、アフターサービスについて	14
主な仕様	15

## ご使用上の注意

### 電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

### 設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

### お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活材・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

### 修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただきます。

### その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



## 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け



分解禁止



電源指を挟まれないよう注意抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

## 警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



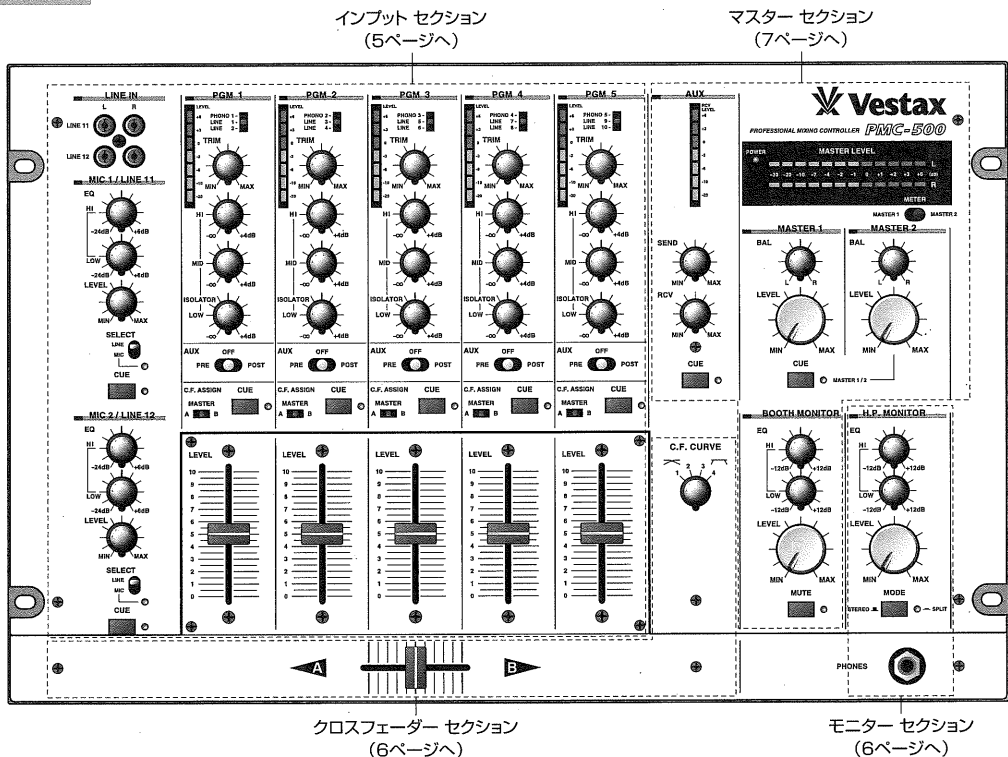
- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

# 本機の特長

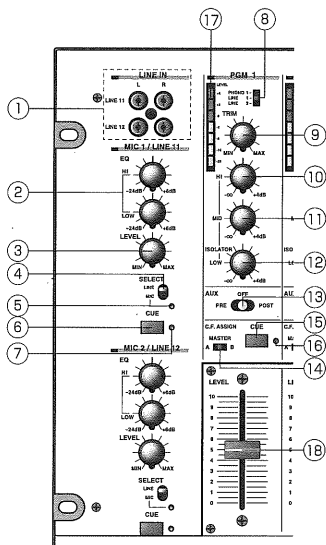
- フォノ5系統、ライン10系統(STEREO)、合計15系統のインプットソースの中から任意の5系統を選んで出力することが可能です。
- 各チャンネルに入力されたソースは、アサイン・スイッチにより、クロスフェーダー部のA又は、Bに送るか、又はクロスフェーダーを経由しないで直接マスターフェーダーに送るかを選択できます。これにより、サンプラー、リズムマシン等をクロスフェーダーの動きに関係なく出力させたり、又は同時に5系統までのソースをミックスすることができます。
- 各チャンネルにはトリムボリュームを装備。入力ソースのCD、レコード毎に異なる再生レベルをインプットレベルメーターに表示させることで、再生レベルを容易にあわせることができます。また、入力レベルセレクトスイッチも装備していますので、トリムボリュームの調節範囲を接続機器のレベルに合わせて設定することができます。
- 各チャンネルには3バンドアイソレーターを装備。入力ソースの音質を高域、中域、低域に分割し、好みの音域をカットする等の効果や、ミキシング時の音域調節を容易にします。
- マイク入力チャンネルを2チャンネル装備し、2バンドEQにより、MC、DJの声質を自由にコントロールできます。また、入力セレクトスイッチも装備されており、上面に配置されたライン入力端子に接続されたソースにも切替可能です。
- クロスフェーダーにはベスタクスオリジナルのPCVフェーダーを採用。また、コントロール回路にはVCAコントロールシステムを採用することにより、滑らかな動きと長寿命を実現しています。またミキシングカーブも4段階に調節でき、DJスタイルに合わせて幅広くご使用になれます。
- 各プログラムチャンネルのインプットフェーダーにはベスタクスオリジナルのレールタイプフェーダーを採用。またデタッチャブル(取外し可能)方式になっており、別売のロータリーフェーダーユニット(DF-500)に交換することができます。これにより、本機をUSハウススタイルのDJミキサーに変えることができます。
- ヘッドフォン出力は大音量の中でもモニターを容易にするための高出力の設計となっています。また、2バンドEQも装備されていますので、モニターし易い好みの音質に調節が可能です。
- ブース出力には2バンドEQを装備。DJブースにおけるモニター音を好みの音質に調整可能です。
- 出力部はMASTER出力2系統とBOOTH出力1系統それぞれに、PHONE JACK(アンバランス出力)、XLR CONNECTOR(バランス出力)を装備。業務用SRシステムとしてベストマッチします。また、出力レベルセレクトスイッチ(内部基板上に配置)も装備していますので、外部接続機器に応じた出力レベル設定が可能です。
- 自動警報装置入力を装備。自動警報装置からの出力信号を感知し、全ての音声出力を自動的に遮断し、緊急放送を行うことができます。コンサートホール、ディスコ、クラブ、ライブハウス等の安全装置設備との接続が可能です。
- 業務用として最適なEIA 19inch 7Uラックマウント・サイズです。

## 各部の名称と機能

### トップパネル



## インプットセクション



### ① LINE INPUT RCA JACK

各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、MDプレイヤー、TAPEデッキ、DAT、VTR音声出力等を接続して下さい。

### ② MIC EQ [HI/LOW]

マイクの音質をHI/LOWの2バンドで調整します。

### ③ MIC LEVEL

MIC入力端子に接続されたマイクのレベルを調整します。

### ④ MIC/LINE SELECT スイッチ

入力系統を切替えるためのスイッチです。MIC (MIC入力端子はリアパネルに配置)、LINE (LINE入力端子はトップパネルに配置) から選択できます。

### ⑤ MIC/LINEインジケータ

MIC/LINE SELECTスイッチ④がMIC選択時に点灯します。

### ⑥ MIC/LINE CUE ON/OFF スイッチ

MIC/LINEチャンネルに入力された信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかが設定します。ヘッドフォンでモニターする際には、このスイッチをONにして下さい。

### ⑦ MIC/LINE CUEインジケータ

MIC/LINE CUE ON/OFFスイッチ⑥がONの状態 で点灯します。

### ⑧ INPUT SELECT スイッチ

各PGMへどの入力を立ち上げるかを選択するスイッチです。プログラム毎に、リアパネルに接続された3つのステレオ入力ソースの中から選択できます。PHONO入力には、RIAAイコライザーが入っています。LINE入力には、CDプレイヤー、MDプレイヤー、TAPEデッキ、DAT、VTR音声出力等の出力を接続して下さい。

## 注意

PHONO入力には、MMタイプのカートリッジのついたターンテーブルを接続して下さい。MCタイプのカートリッジをご使用になるときは、別売りの専用ヘッドアンプが必要となります。

### ⑨ PGM TRIM

各チャンネルの入力レベルを調整します。インプットフェーダーとマスターフェーダーを7~8の位置にセットしてINPUT LEVEL メーター⑰が時々0dBを示すぐらいの位置にセットして下さい。

### ⑩ PGM ISOLATOR-HI

高音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと高音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするとき等に使用します。

### ⑪ PGM ISOLATOR-MID

中音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと中音域帯音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。ボーカルソースをカットして、リズムソースを強調するとき等に使用します。

### ⑫ PGM ISOLATOR-LOW

低音域帯のみの音量をブースト/カットするボリュームです。左に回すと低音域帯の音量がカットされ、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出すとき等に使用します。

### ⑬ AUX SENDスイッチ

各プログラムの音声信号を外部エフェクターへ送るかどうかが設定します。それぞれ次のような機能があります。

PRE: インプットフェーダー・クロスフェーダーの位置にかかわらず音声信号がAUX SEND JACKへ送られます。(インプットフェーダーが0の位置になっていても送られます。)  
※但し、PGM TRIM・PGM ISOLATORを経由した音声となります。

OFF: 音声信号はAUX SEND JACKへ送られません。

POST: インプットフェーダー・クロスフェーダー・PGM GAIN・PGM ISOLATORを経由した音声信号がAUX SEND JACKへ送られます。(インプットフェーダーが0の位置になっているときは、送られません。)

### ⑭ C.F. ASSIGN スイッチ

各チャンネルを通った入力信号をクロスフェーダー、又は、マスターセクションのいずれかにアサインするスイッチです。

### ⑮ CUE ON/OFF スイッチ

各PGMにおけるプリフェーダーからの信号レベルをヘッドフォンモニター部に出力するかどうかが選択するスイッチです。ヘッドフォンで任意のPGMの入力をモニターする際に、このスイッチをONにして下さい。

### ⑯ CUEインジケータ

CUE ON/OFFスイッチ⑮がONの状態 で点灯します。

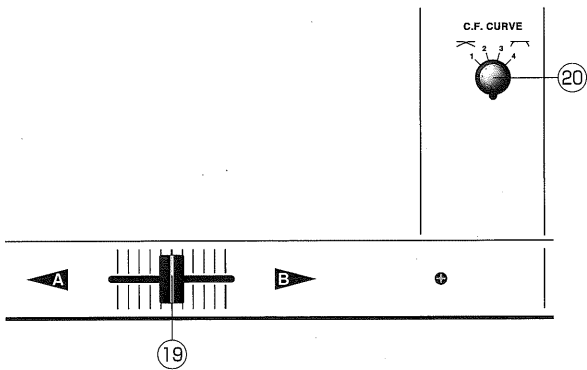
### ⑰ INPUT LEVELメーター

LEDバーグラフにより、各PGMチャンネルに入力される信号レベルを表示します。

### ⑱ INPUT FADER

各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には別売りの新しいインプットフェーダーユニット、「IF-500」に交換して下さい。なお、交換は10ページ「フェーダーの交換」をご参照下さい。

## クロスフェーダーセクション



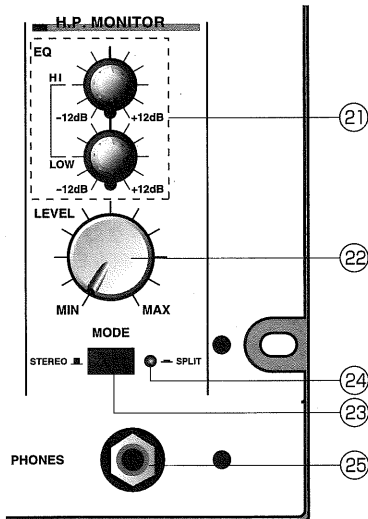
### ⑱ CROSS FADER

左側に移動するに従い、C.F. ASSIGNスイッチ⑭でAにアサインされた音が、右側に移動するに従い、Bにアサインされた音が出力されます。クロスフェーダーを動かした時、ノイズが目立つようになった場合には、別売りの交換用クロスフェーダユニット"CF-PCV"に交換して下さい。なお、交換は11ページ"フェーダーの交換"をご参照下さい。

### ⑳ C.F. CURVE SELECT スイッチ

クロスフェーダーのカーブをカーブパターン1~4の中からセレクトします。  
 パターン1: 最もなだらかなカーブです。ロングミックスに適しています。  
 パターン2: 比較的なだらかなカーブです。  
 パターン3: 比較的急なカーブです。  
 パターン4: 最も急なカーブです。スクラッチやカットイン/アウトに適しています。

## モニターセクション



### ㉑ MONITOR EQ [HI/LOW]

ヘッドフォンの音質をHI/LOWの2バンドで調整します。

### ㉒ MONITOR LEVEL

PHONE JACKに接続されたヘッドフォンのレベルを調整します。

### ㉓ MONITOR MODE SELECT スイッチ

ヘッドフォンのモニター方式を切替えるスイッチです。それぞれ次の様な機能があります。

#### STEREO (ステレオモニター方式):

この場合、各CUE ON/OFFスイッチでONに設定されたセクションの音声がヘッドフォンの左右より出力されます。

#### SPLIT (スプリットキュー方式):

この場合、各CUE ON/OFFスイッチでONに設定されたセクションの音声がヘッドフォンの左側から、また右側からはMASTER OUTの音声が出力されます。

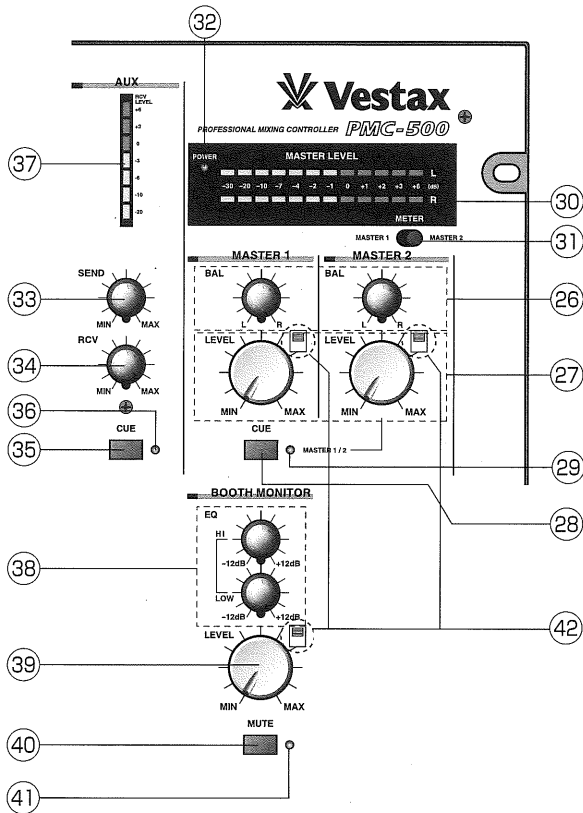
### ㉔ MONITOR MODEインジケータ

MONITOR MODE SELECTスイッチ㉓がSPLIT選択時に点灯します。

### ㉕ PHONES JACK

このジャックにヘッドフォンを接続して下さい。8~600ohmまで使用可能で、適正は150ohmです。

## マスターセクション



- ②6 MASTER BALANCE 1/2  
リアパネルのMASTER OUT 1/2 JACK⑤②から出力される信号のL、Rのバランスを調整します。
- ②7 MASTER LEVEL 1/2  
リアパネルのMASTER OUT 1/2 JACKから出力される信号のレベルを調整します。
- ②8 MASTER 1/2 CUE スイッチ  
MASTER OUT 1/2 JACKから出力される信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかを設定します。ヘッドフォンでモニターする際には、このスイッチをONにして下さい。
- ②9 MASTER 1/2 CUE インジケーター  
MASTER 1/2 CUEスイッチ②8がONの状態では点灯します。
- ③0 MASTER LEVEL メーター  
LEDバーグラフにより、MASTER OUT 1/2 JACKから出力される信号レベルを表示します。
- ③1 METER ASSIGN スイッチ  
MASTER LEVELメーター③0にMASTER 1/2のどちらのレベルを表示させるかを選択するスイッチです。

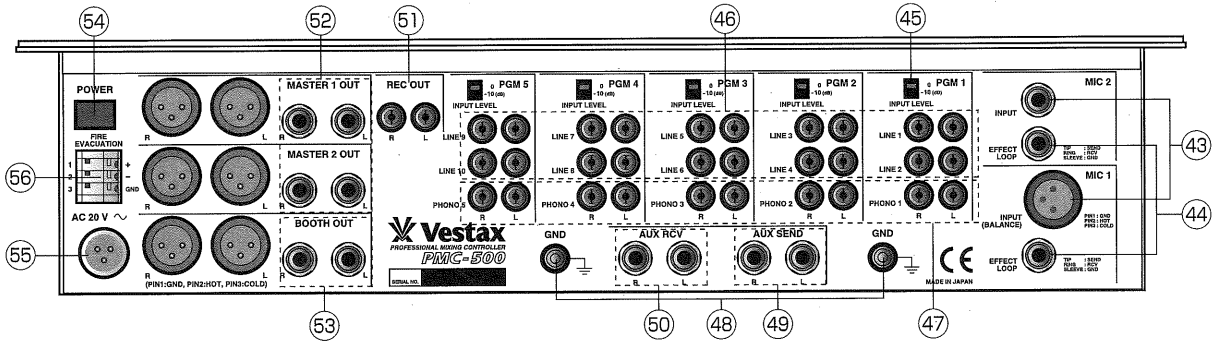
- ③2 POWER インジケーター  
POWERスイッチ⑤4がONの状態では点灯します。
- ③3 AUX SEND LEVEL  
リアパネルのAUX SEND JACK④9に接続した外部エフェクターに送る信号のレベルを調整します。クロスフェーダー使用時はクロスフェーダーの後から信号を取り出しマスターフェーダーの前に戻していますので、クロスフェーダーを使ったカットアウトにエコーをかける等様々なテクニックが使えます。
- ③4 AUX RCV LEVEL  
リアパネルのAUX RCV JACK⑤0と接続した外部エフェクターから入力される信号のレベルを調整します。
- ③5 AUX CUE ON/OFF スイッチ  
AUX RCV JACK⑤0に入力された信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかを設定します。ヘッドフォンでモニターする際には、このスイッチをONにして下さい。
- ③6 AUX CUE インジケーター  
AUX CUE ON/OFFスイッチ③5がONの状態では点灯します。
- ③7 AUX RCV LEVEL METER  
LEDバーグラフにより、リアパネルのAUX RCV JACK⑤0と接続した外部エフェクターから入力される信号のレベルを表示します。
- ③8 BOOTH OUT EQ [HI/LOW]  
BOOTH OUTの音質をHI/LOWの2バンドで調整します。
- ③9 BOOTH OUT LEVEL  
リアパネルのBOOTH OUT JACK⑤3から出力される信号のレベルを調節します。
- ④0 MUTE スイッチ  
リアパネルのBOOTH OUT JACK⑤3から出力される信号を消音(ミュート)するためのスイッチです。スイッチをONにしますと、消音(ミュート)されます。
- ④1 MUTE インジケーター  
MUTEスイッチ④0がONの状態では点灯します。
- ④2 MASTER OUT 1/2、BOOTH OUT LEVEL SELECT スイッチ  
MASTER OUT 1/2、BOOTH OUT LEVELを切り替えるためのスイッチです。スイッチを下側に設定すると、出力レベルが-10dB 減衰します。

### 注意

これらのスイッチはトップパネル下部に設置されていますので、操作時にはトップパネルを外してから行って下さい。

又、これらのスイッチはシャーシの奥に位置していますので、操作時には細いマイナスドライバー等を使用して行って下さい。

## リアパネルセクション



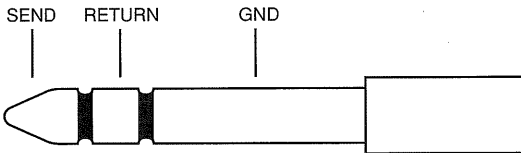
### ④③ MIC1/2 INPUT JACK

マイクを接続します。MIC1はXLRジャック(バランス入力)タイプで、MIC2はPHONEジャック(アンバランス入力)タイプです。

### ④④ EFFECT LOOP JACK

マイク専用のエフェクターを接続します。このJACKに接続するためには下図のプラグ、ケーブルが必要です。

TIP: MIC SEND出力  
RING: MIC RETURN入力  
SLEEVE: アース



### ④⑤ INPUT LEVEL SELECT スイッチ (0/-10dB)

本機の入力レベルを調整する切替えスイッチです。接続する機器の出力レベルに応じてレベルを切替えます。

### ④⑥ LINE INPUT RCA JACK

各ラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、MDプレイヤー、TAPEデッキ、DAT、VTR音声出力等を接続して下さい。

### ④⑦ PHONO INPUT RCA JACK

各PGMのターンテーブルの入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。

### ④⑧ GND TERMINAL

各PGMのターンテーブルのアース端子を接続して下さい。

### ④⑨ AUX SEND JACK

外部エフェクターの入力端子に接続して下さい。AUX SENDスイッチ⑬、AUX SEND LEVEL⑬で選択された音声信号の出力端子です。外部エフェクター、サンプラー等へ接続して下さい。

### ⑤⑩ AUX RCV JACK

外部エフェクターの出力を接続して下さい。

### ⑤⑪ REC OUT JACK

録音用の出力端子です。CD-R/RWプレイヤー、MDプレイヤー、TAPEデッキ、DAT等に接続して下さい。

※マスターレベルに関係なく一定のレベルで出力されます。

### ⑤⑫ MASTER OUT1/2 JACK

[1/4" PHONE JACK 2系統(アンバランス出力)、XLR JACK2系統(バランス出力)]

最終的にミックスされた信号が出力される端子です。アンプ等に接続して下さい。4系統あるのでメイン出力以外に片方を録音用として使用したり、ホール用とエントランス用に分けて使用することもできます。

### ⑤⑬ BOOTH OUT JACK

[1/4" PHONE JACK 1系統(アンバランス出力)、XLR JACK2系統(バランス出力)]

DJブース内のモニター用出力端子です。尚、出力される信号はMASTER OUT1/2と同じですので、3番目の出力端子としても使用できます。

本機はMIC1/LINE11、MIC2/LINE12チャンネルに入力されたソースはBOOTH OUT端子から出力されない仕様となっておりますが、用途に応じてBOOTH OUT端子から出力するように改造することができます。但し、この改造は特殊技能が必要とされるため、メーカー対応とさせて頂いております。詳しい情報につきましては、当社サービス課までお問い合わせ下さい。

### ⑤⑭ POWER スイッチ

電源のON/OFFスイッチです。ONのときにPOWERインジケータ⑳が点灯します。

## 注意

このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合破損する恐れがありますので、ご注意下さい。

### ⑤⑮ POWER JACK

専用のアダプター(AC-20)を接続して下さい。

## 注意

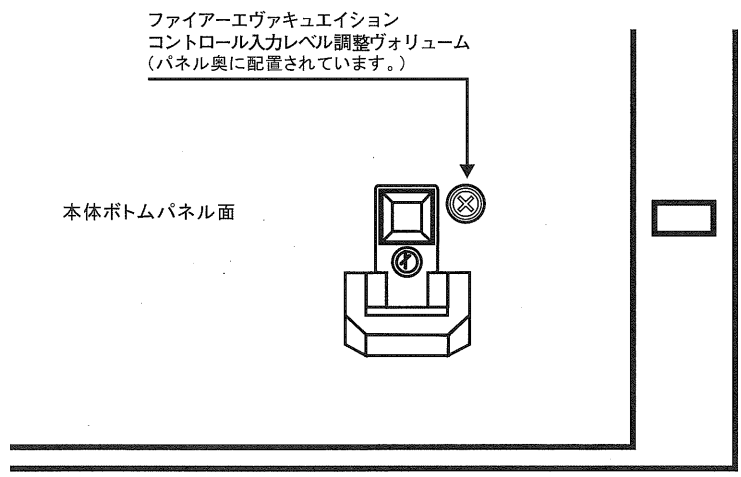
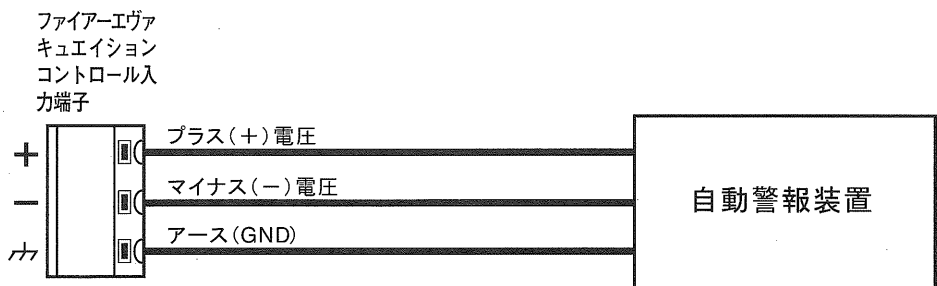
Vestax AC-20以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがあります。その場合、保証しかねますのでご了承下さい。



⑤⑥ ファイアーエヴァキュエーションコントロール入力端子 (自動警報装置入力端子)

ファイアーエヴァキュエーションコントロール入力端子の役割  
 不特定多数の人々が集まるクラブ、ディスコ、ライブハウスでは大音量での音楽演奏時に緊急事態が発生した際、自動的に音楽の演奏を遮断し、緊急警報を放送する安全装置を場内に設置することが場所によって国や自治体から義務付けられることがあります。  
 本機に装備されたファイアーエヴァキュエーションコントロール入力端子 (自動警報装置入力) は、自動警報装置からの信号を感知し、自動的に演奏を遮断し緊急警報を本機の音声出力端子から放送することができます。

自動警報装置の出力をファイアーエヴァキュエーションコントロール入力端子 (自動警報装置入力) に図のように接続して下さい。この入力の最大入力レベルは+20 dBで、-20 dBより大きいレベルの信号を受けた時に、マスターアウトレベルとブースアウトレベルを自動的に40 dB減衰させ、緊急警報の音声信号がマスターアウトとブースアウトの信号ラインを通して出力されます。緊急警報の音量調整はマスターレベルボリュームとブースレベルボリュームとは別に図のようにボトムパネルの奥に配置されたレベルボリュームで調整することができます。調整する際はドライバー等を使用して下さい。



※自動警報装置に関する詳細情報に関しては、自動警報装置の各製造メーカー等へお問い合わせ下さい。当社の製品または業務内容と異なる御質問、お問い合わせに関しては適切なご回答ができないことがありますのでご了承下さい。

## インプットフェーダーの交換

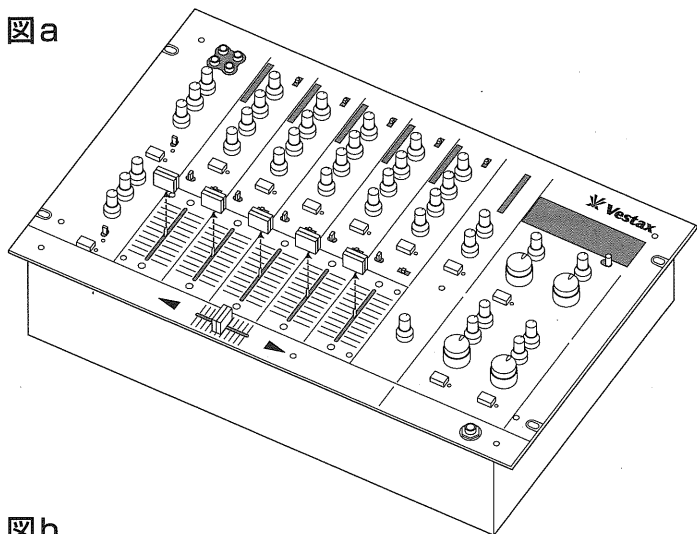
### 注意

- ・フェーダーを交換する際は、安全のため電源をお切り下さい。ノイズが出たり、ショートするおそれがあります。
- ・ドライバーをご使用になる際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

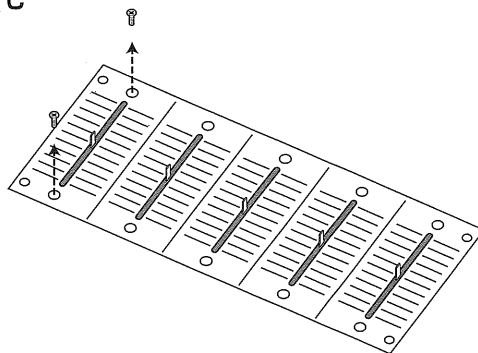
### ■フェーダーユニット：IF-500への交換

- ① 図aのように、インプットフェーダーのつまみを取り外して下さい。
- ② 図bのように、インプットフェーダー部パネルを固定している4点のネジを取り外して下さい。
- ③ 図cのように、交換したいインプットフェーダーを固定している2点のネジを取り外して下さい。
- ④ 図dのように、パネルからフェーダーを外し、フェーダーと本体側を接続しているコネクターを引っ張って取り外して下さい。  
(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。)
- ⑤ 新しいフェーダーユニットと交換し、取り外した時と逆の手順で取付けて下さい。

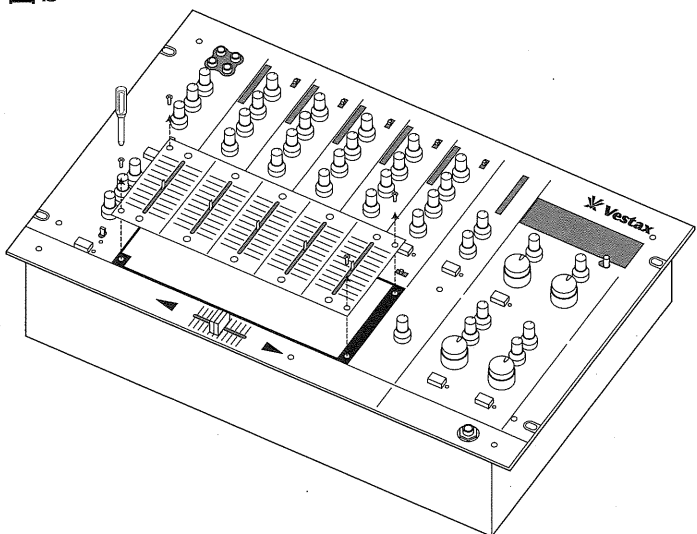
図a



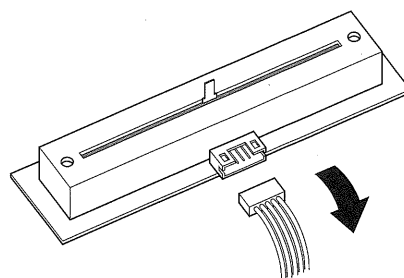
図c



図b



図d

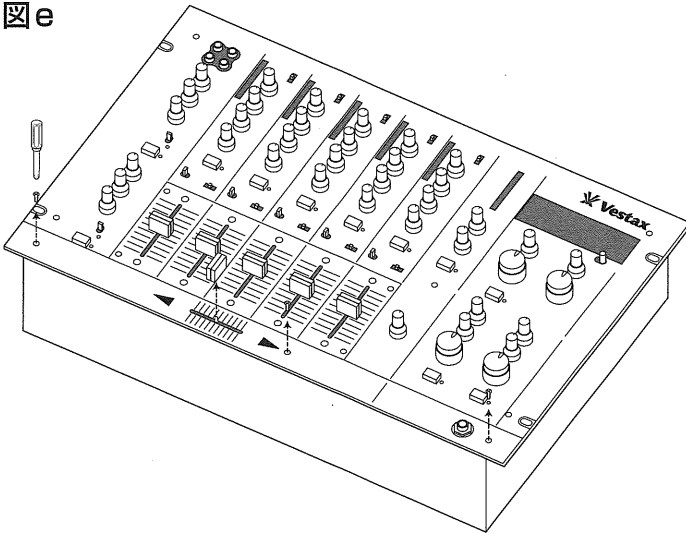


## クロスフェーダーの交換

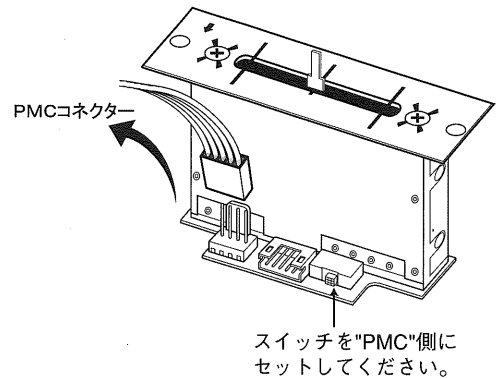
### ■クロスフェーダーユニット：CF-PCVへの交換

- ① 図eのように、クロスフェーダーのつまみ、クロスフェーダー部パネルを固定している3点のネジを取外し、パネルを持ち上げて下さい。
- ② 図fのように、クロスフェーダーユニットを固定しているネジ2点を取り外して下さい。
- ③ 図gのように、フェーダーユニットを本体側と接続しているコネクターを引っ張って取り外して下さい。  
(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい。)
- ④ 図hのように、新しいクロスフェーダーユニット"CF-PCV"のつまみを取り外して下さい。
- ⑤ 新しいフェーダーユニットと交換し、取り外した時と逆の手順で取付けて下さい。

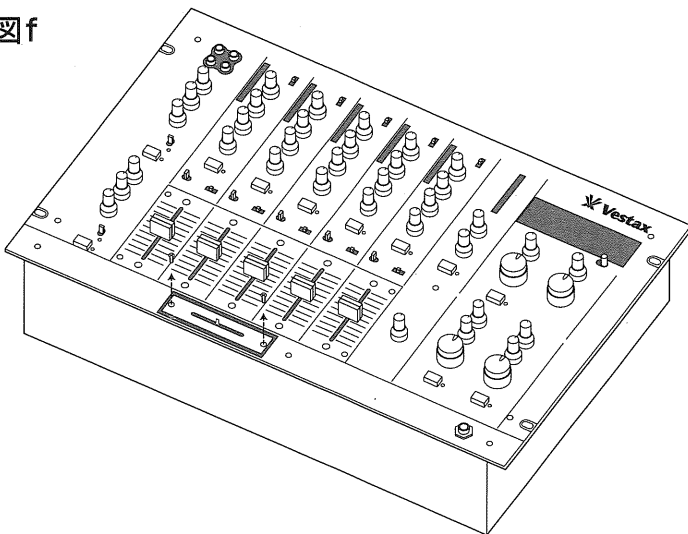
図e



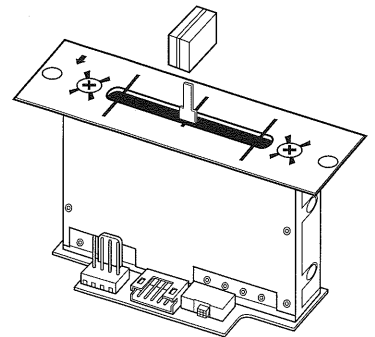
図g



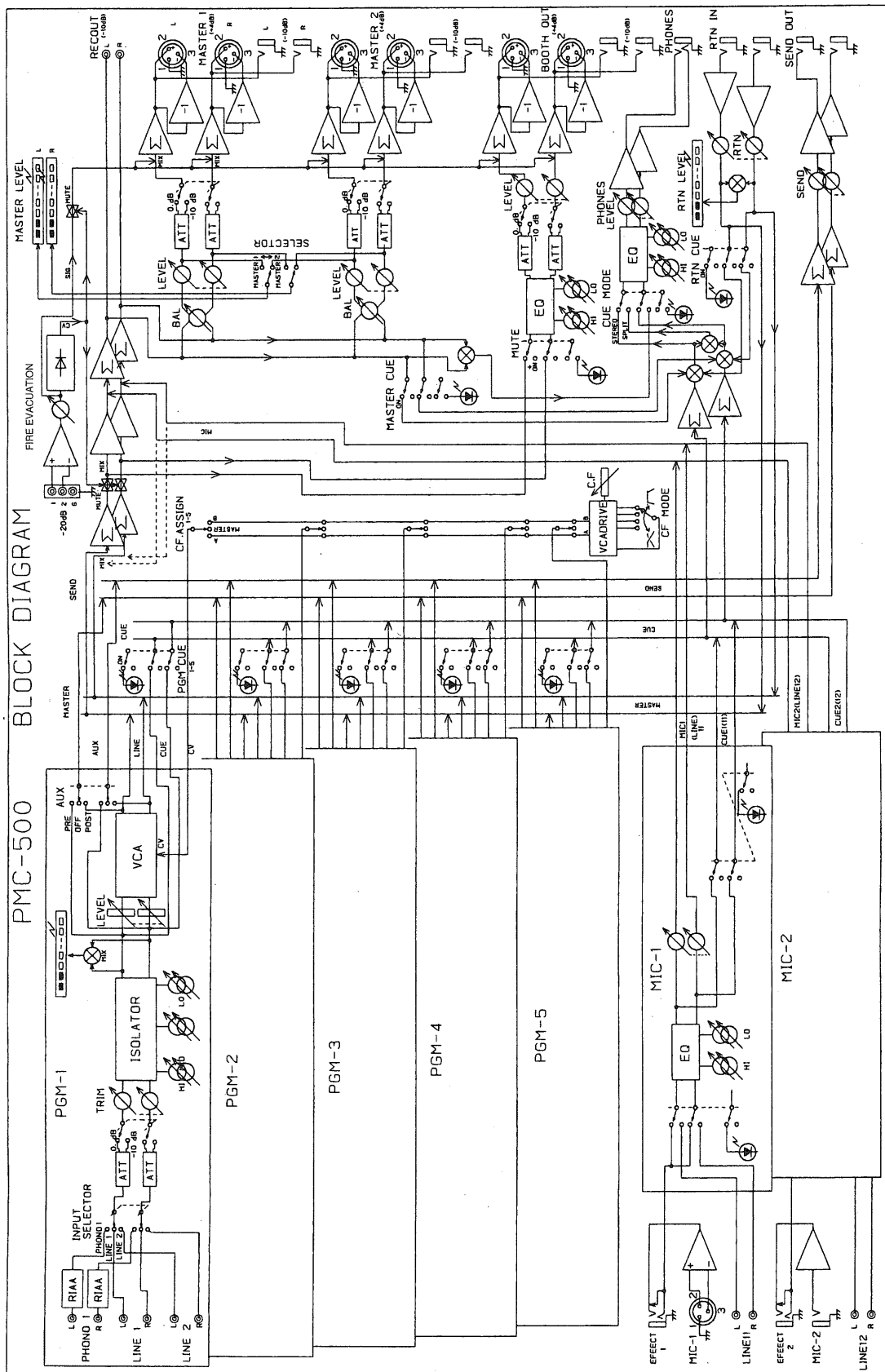
図f

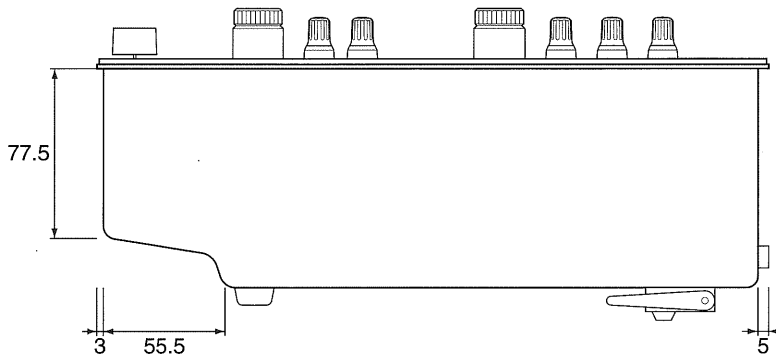
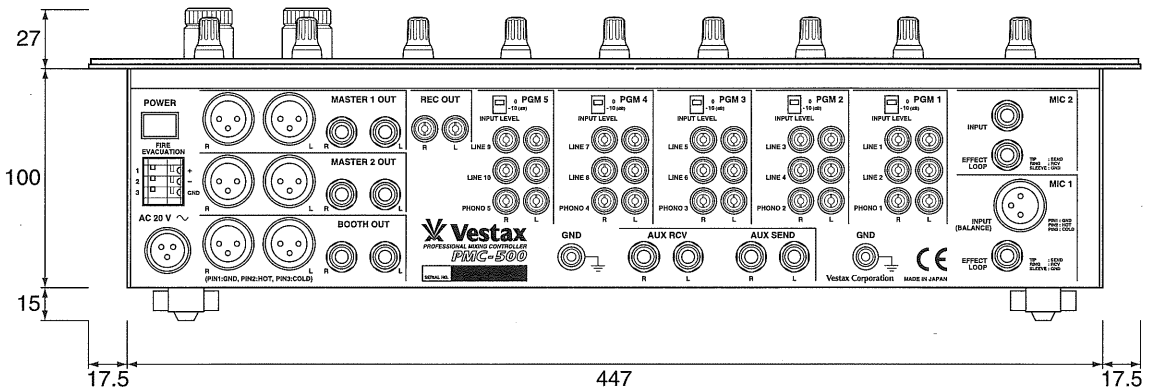
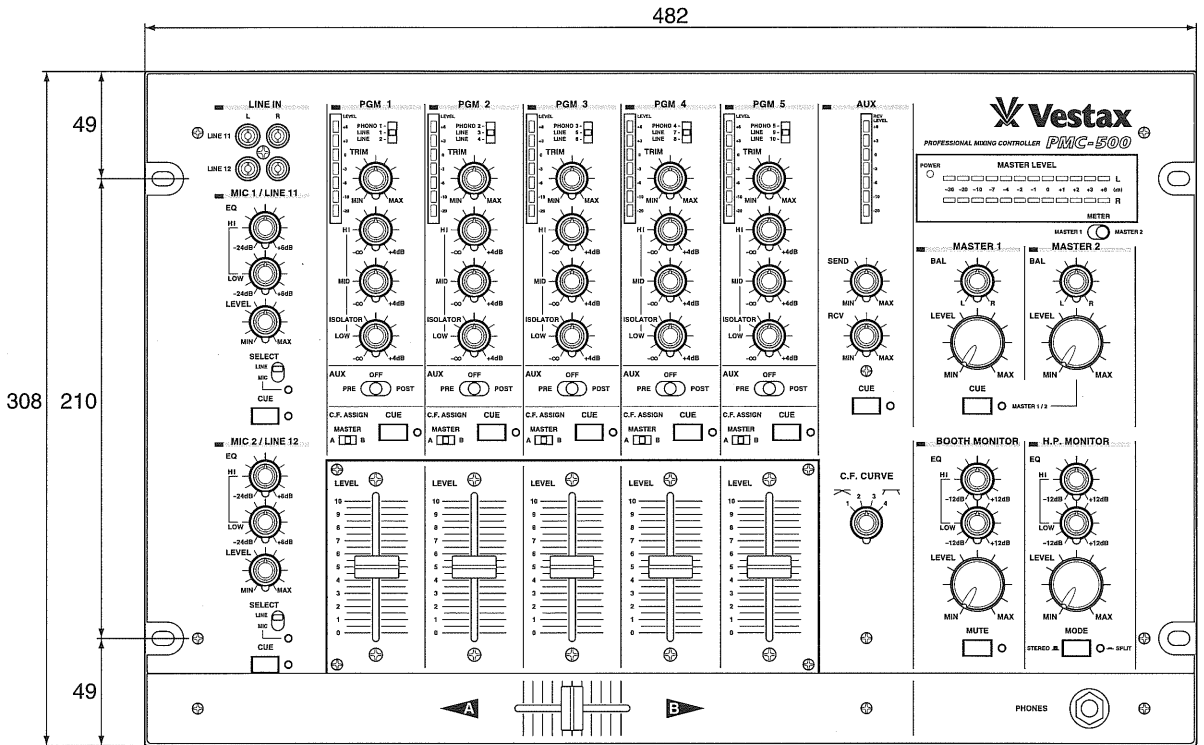


図h



# ブロックダイアグラム





# 故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。  
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源アダプターがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っている。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ボリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっている。	各音量ボリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルを PMC-500 本体の LINE INPUT に接続している。	PMC-500 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレイヤーのカートリッジに、MC タイプを使用している。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-500 の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続している。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベルの高い CD、MD プレイヤー等を接続している。	PMC-500 の PGM TRIM ボリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっている。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがある。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離す。
	レコードプレイヤーのアース線がはずれている。	アース線を PMC-500 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗している。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クロスフェーダーユニット CF-PCV をご購入ください。)

## 保証・アフターサービスについて

### 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

#### 保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年です。

#### 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。  
性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

#### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

#### 修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

##### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って修理させていただきます。

##### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。  
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ ( ) -

# 主な仕様

		NOMINAL INPUT	MAXMUM INPUT	INPEDANCE
INPUT SECTION	MIC1 (XLR FEMALE 2PIN HOT BALANCE)	-50dBv	-20dBv	3.3kΩ
	MIC2 (1/4 INCH PHONE JACK)	-50dBv	-20dBv	3.3kΩ
	PHONO 1~5L/R (RCA PIN JACK)	-46dBv	-18dBv	57kΩ
	LINE 1~12L/R (RCA PIN JACK)	-10dBv	+8dBv	17kΩ
	AUX RCV (1/4 INCH PHONE JACK)	-10dBv	+12dBv	47kΩ
		RATED OUTPUT	MAXMUM OUTPUT	INPEDANCE
OUTPUT SECTION	MASTER1/2 L/R (XLR MALE 2PIN, BALANCE)	-6dB	+27dB	600Ω OVER/440Ω
	MASTER1/2 L/R (1/4 INCH PHONE JACK, UNBALANCE)	0dB, -10dB	+22dB	600Ω OVER/440Ω
	REC OUT	-10dB	+13dB	750Ω
	BOOTH L/R (1/4 INCH PHONE OUT)	0dB~-10dB	+22dB	10kΩ OVER/220Ω
	AUX SEND L/R (1/4 INCH PHONE JACK)	0dB	+22dB	220Ω
	HEAD PHONE (1/4 INCH PHONE JACK)		190mW	8Ω OVER/68Ω
FREQUENCY RESPONSE	MIC	30Hz ~ 20kHz ±3dB	CROSSFADER CROSSTALK	> 80dB
	LINE	30Hz ~ 20kHz ±1.5dB	CHANNEL CROSSTALK	> 65dB
S/N RATIO	MIC	> 60dB	POWER SUPPLY	AC 100V 50/60Hz 50W
	LINE	> 75dB	DIMENSION (W×H×D)	482×308×142
FADER ATTENUATION		> 80dB	WEIGHT	7kg

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

